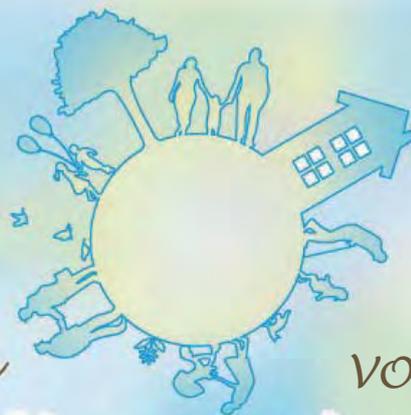


# Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life

6  
2019

VOL. 165



開祖随感

## 相手の美点を見る眼<sup>まなこ</sup>

だれしも、自分がほめられることほどうれしいことはないのに、人をほめるのは、あまり好きではないようなのですね。

「どうしたら開祖のように人の欠点を見ず、よいところだけを見られるようになるのですか」と、よく尋ねられるのですが、人の欠点ばかりが見えてしまうというのは、相手と張り合う気持ちが強すぎるからではないかと思うのです。弱みを見せまい、負けてなるものかと、自分を守ることで精いっぱいなのではないでしょうか。

私は、そういう無理ながんばり方をしないのです。自分よりすぐれた人には、すぐにシャッポを脱いで教え

を請う。みんなが仏さまの子ども同士なのですから、張り合ってみてもなんの意味もないのですね。そういう考え方で、自分をがんじがらめにしている自己防衛の心から解き放たれると、おのずと心のゆとりが生まれ、相手の美点が見えるようになってくるのです。それが慈悲の眼です。

たとえばお姑さんとお嫁さんが、この心のゆとりを持つことができたなら、毎日がガラリと変わってしまいます。人を心からほめられるようになる秘訣<sup>ひけつ</sup>は、そこにあると思うのです。

〔『開祖随感』9, p. 250-251〕

### Living the Lotus 2019年6月号 (Vol.165)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 仏の教えを習い、学ぶ

立正佼成会会長 庭野日鏡



### 「習学」は日常のなかに

学校などで、知識を得るために勉強することを「学習」といいます。一方、法華経ほけきょうの「方便品ほうべんぼん」には、「学習」とよく似た「習学しゅうがく」という言葉が見られます。

「諸仏しよぶつの法是ほうかくの如く 万億まんのくの方便ほうべんを以て 宜よろしきに随したがって法ほうを説ときたもう 其その習学しゅうがくせざる者は 此これを暁ぎょうりょう了あたすること能あたわじ」。仏は、たくさんの手だてを使って、常にそれぞれの人にふさわしい法を説いているのですが、「習学せざる者」は、そのことに気づくことができないということです。逆にいうと、「習学」をすれば、いつでも、そのとき自分に必要せつなお諭さとしに気づけるといことです。

ところで、エゴノキという植物が、ちょうどいまごろ、白い花を枝いっぱいにつけた様さまを詠よんだ句があります。「樹きの声こゑのあふるるえごの盛りさきざなり」(如月にげつきのら句集『実生みしょう』／ふらんす堂)。こぼれるように咲く花を見て、「きれいだなあ」と思う人はたくさんいますが、「樹きの声こゑがあふれている」と観る感性が新鮮です。そして、その「声」が、私たちに何を語りかけているのかを考えると、教えられることがいくつもあるように思えます。

仏が、私たち一人ひとりに、そのときその場にふさわしい法を説いているというのは、たとえば爛漫らんまんと咲くエゴノキが、ある人には生滅しょうめつ変化へんかする無常むじょうの理ことわりを気づかせ、またある人には「いま」を精せいいっぱい生きる大切さを教える「声」を発しているということでしょう。

こうした自然ぜんぜんの摂理せつりをはじめ、さまざまなきごとのなかに真理を感じとり、仏の声を聴こうとすることで、私たちは、自分の思い上がりや欲得よくとくずくの考えを反省したり、生きる勇気を得たりして、また新たな一歩を踏みだします。

その繰くりか返しを「習学」というのです。





## 実践してこそ「習学」

日々、私たちの周囲で起こるできごとは、仏が「万億の方便」を駆使して説く法にほかなりません。受けとめようとする心があれば、だれでもそれに気づくことができます。

ただ、「習学」は知識を得るものというよりも、実践を繰り返すなかで「仏の教えにそった生き方を身につけていく」ものです。たとえば、身近な人と仲たがいをしたとき、相手を責める前に「思いやりの足りなさを教えられているのかな」と学ぶ気持ちになると、素直に謝ることができるように、たとえ困難なことに直面しても、そのことから「自分はいま、何を教えられているのか」を学び、前向きな実践につなげて、その生き方を自分のものにしていくのです。

とはいえ、いつでも、どのようなことも、それを仏の説法と受けとめられるほど、心が安定している私たちとはいえません。気づいたことが、ずっと胸に落ちるときもあれば、疑問や迷いが心に渦巻くこともあります。

そういうとき、迷った心を再び仏の教えに向かわせるのが「ご供養<sup>くよう</sup>」や「導き・手どり法座」です。本会では、この二つに「ご法の習学」を合わせた三つを「基本信行」としていますが、ご供養や法座修行も「ご法の習学」の一環ですから、信仰に根ざした生活すべてが「習学」の二文字に集約されるといえましょう。

では、どうして私たちがこのように「習学」できるのかといえば、先の経文の前段に「但一乗の道を以て 諸の菩薩を教化して 声聞の弟子なし」とあるとおり、私たちに菩薩の精神が宿っているからです。それはつまり、だれ一人として自分だけが幸せになればいいと考える人はいないということです。その意味では、私たちが人さまの幸せを願って法を伝えることも大事な「習学」の一つで、自他の一体感という大きな喜びと幸せがそこにあるのです。

(『佼成』2019年6月号)





## チャレンジの先に見えたもの



バンコク教会  
パンヤミポキ・チャンタ

この体験説法は、2019年3月1日に大聖堂で行なわれた朔日参り(布薩の日)の式典で発表されたものです。

私は1992年、タイの首都バンコクで、パンヤミポキ家の一人娘として生まれました。我が家は両親と兄との四大家族です。

私が佼成会を知ったのは小学校5年生のときです。従姉に「日本語を勉強できる場所に一緒に行きませんか」と誘われ、何も知らずについて行ったのが佼成会でした。日本語を学べるうえ、従姉と一緒にいられることが楽しくて教会に足を運びました。その後、従姉に導かれ、家族でただ一人入会しました。

その年、従姉は佼成会の学林海外修養科生として、日本に留学しました。

2年後、従姉が卒林してタイに戻ってくると、私は再び教会に足を運ぶようになりました。従姉から学林での学びをたくさん聞かせていただいた中で、特に開祖さまについての話が心に残りました。開祖さまは自分の幸せより人さまの幸せのために、家族と十年間も離れて修行し、日本や世界に法華経を広めてくださったのだと教えていただきました。開祖さまは素晴らしい方だと感じ、佼成会の教えをもっと学びたいと思うようになりました。

大学3年生のとき、私はバンコク立正佼成会の笹川佳央教会長さんから、「学林で仏教を学んでみませんか」と、海外修養科生への応募を勧められました。何日も悩んだ末に、二つの理由から日本への留学を決めました。一つは、タイと日本の仏教の違いを知りたいと思ったからです。私は末っ子で両親に大切に育てられこともあり、身の周りのことは全て家族が手伝ってくれました。そのため、家族と離れて生活す

ることは、私にとって自立するチャンスであり、チャレンジだと思ったことがもう一つの理由です。従姉も「ベルちゃん(私の愛称)の人生が変わるかもしれないよ。とてもいい場所だからよく考えて答えを出してね」と、後押ししてくれました。

2017年、学林に入林した私は、日本で寮生活を始めました。初めて家族と離れて暮らす不安の中、本格的な日本語の勉強が始まりました。日本語学校での授業と自習で、毎日10時間ほど勉強しましたが、私の日本語はなかなか上達しませんでした。それまでの人生で一番勉強に励んでいるのに、どうして結果に結びつかないのか悩み、時には辛くて泣いた日もありました。それでもあきらめずに勉強を続け、一年後には学林の2年生に進級することができました。

2年生になると、教会での布教実習があり、私は島根県の浜田教会にお世話になりました。実習期間は



大聖堂で説法をするパンヤミポキさん

2カ月半でした。布教実習は2回に分けられ、5月に行なわれた前半の3週間の実習のあと、後半は9月から7週間かけて行なわれました。

浜田教会は学林のある青梅から遠く、実習中は一人のため不安もありましたが、渡部江美子教会長さんや信者の皆さんが初対面の私を笑顔で迎えてくださり、うれしくて心が軽くなりました。

前半の3週間は、多くの信者さんと出会い、おいしい食事をいただき、たくさん修行を通して楽しく有り難い経験をさせていただきました。それは、み仏さま、開祖さま、会長先生からいただいた有り難いご縁だと感謝しています。

また、後半の実習にも心を躍らせつつ、9月22日当日の朝を迎えました。ドキドキしながら浜田教会の玄関に入った途端、皆さんから「お帰りなさい」と声をかけていただき、まるで我が家に帰ってきたように思いました。とてもうれしくて、心が温かくなりました。

私は自分の気持ちを話すことが苦手です。そのため、前半の実習では法座に入ってもあまり話ができませんでした。しかし、後半の実習では自分の気持ちを伝えることを目標にしました。最初は自分に自信がなく、なかなか実践できませんでしたが、渡部教会長さんにお話しすると、「苦手なことに毎日チャレンジしてみてください」と教えていただきました。それから毎日チャレンジを続けているうちに、自然と勇気が出てきました。

ある日、支部長さん、信者さんと私の3人で、教会から一番遠い浜田東支部のKさんのお宅へ手どりに行きました。Kさんは笑顔で迎えてくれました。Kさんは一人暮らしで、2011年から2013年まで、毎年家族

が亡くなられたことを涙ながらに話してくださいました。Kさんはとても辛く寂しそうで、話を聞きながら私も泣きたくなるほど胸が痛くなりました。辛い思いを心に秘めていたこと、そして今までずっと一人で抱えてきたことを話して下さり、手どりに行かせていただいたことでKさんの心が軽くなったように感じました。帰り際には「ありがとうね」と言ってくださいました。私は人さまの幸せを願うお手どりが大好きなので、とても有り難い気持ちにならせていただきました。

この手どりを通して、相手の気持ちに寄り添えたときに心が通じ合い、初めて相手の仏性が開くということ学びました。

浜田教会の皆さん、毎日おいしい食事を用意して下さり、有り難うございました。おかげさまで、魚が好きになりました。毎日「ベルちゃん、おはよう」と、元気に声をかけて下さり、有り難うございました。いつも私を心配して下さり、そして優しい言葉をかけて下さり、有り難うございました。たくさんお菓子をいただき、太ってしまったことにも感謝しています。皆さんは私にとって第二の家族です。心から感謝いたします。

本日、海外修養科25期生5人を代表して、説法のお役を頂戴しました。私以外の4人の同期も、実習先の教会長さんをはじめ信者の皆さんに、本当の家族のように温かく見守っていただいたことに心から感謝しております。本当に有り難うございました。

私は学林での修行を通して、み仏さま、開祖さま、会長先生の教えを実践する世界中のサンガは、言葉や文化など、それぞれの違いを超えて理解し合えることを学びました。

会長先生は年頭のご法話の中で、創造的な歩みを進める確たる志をもつことの大切さをご指導くださっています。私は卒業後、タイに戻り、中学校の理科の先生になるという夢があります。理科の授業を通して、仏教的な生き方を生徒たちに伝えていける優しい先生になりたいと思います。そして、バンコク教会の水谷庄宏教会長さん、スタッフのみなさんをサポートし、学林で学んだ教えを多くの青年にお伝えしたいと思います。

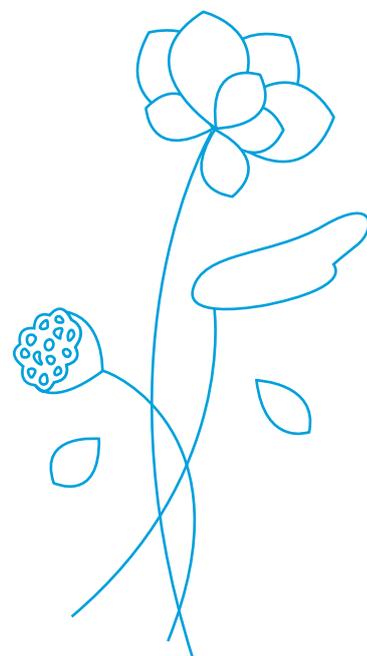
私はみ仏さま、開祖さまの教えを学び、「まず人さま」という自分のことよりも相手を思いやる心、そして相手のために尽くす喜びを知りました。これからの私は出会いを大切に、相手を丸ごと受け入れ、人さまのお役に立てる自分になることをお誓いいたします。

最後に、私を日本に送り出してくれた両親に感謝いたします。

皆さま、ご清聴誠に有り難うございました。



学林海外修養科の同期と(右端)



# 法華三部經

## 各品のあらましと要点

### 妙法蓮華經

#### 五百弟子受記品第八

この品は、富楼那をはじめとするたくさんの高弟たちに、「必ず仏の境地に達するであろう」という保証が与えられる章です。

富楼那は、法明如来という名の仏となり、そのほかの人たちは、すべて普明如来という名の仏となるだろうと保証され、また、「余の諸の声聞衆も亦当に復是の如くなるべし」とおおせられています。すなわち、仏の教えを聞いて悟りを得ようと一心に努める者は、いつかは残らず仏の悟りを得て普明如来になるのだと授記されたのです。

しかも、摩訶迦葉に「其の此の会に在らざるは汝当に為に宣説すべし(このことを伝えよ)」と命ぜられています。これは、直接には先に《方便品》の説法の途中で座を立った「五千起去の人たち」を指しているのだといわれています。つまり、「一度仏の教えを聞く縁をもった者は、一時は退転することもあるかもしれないが、しかしその縁は必ず後で芽をふいて、いつかは仏道に立ち戻り、仏の悟りを得るであろう」というわけです。

さらにまた、後世の仏弟子であるわれわれも、法華經の教えを学び、実践していけば、必ず普明如来になれるということになります。

### みんな普明如来に

普とは普くということですから、普明如来とは、世の中を普く光明化する如来ということ。この品の説法の中に「転次して授記せん」というお言葉が

あり、それは、甲が乙へ、乙が丙へと次つぎに授記するだろうという意味ですから、仏の教えを学び行わずのわれわれは、いつかはだれかに授記されるわけですし、まただれかに授記する義務をもっているのです。このようにして、次第次第に普明如来が増えてくれば、世の中は光明いっぱい、寂光土と化していくわけです。

そういうすばらしい保証がこの品の眼目であると、受け取ることができます。いや、そう受け取らなければなりません。



## えりけいじゆ 衣裏繫珠の譬え

さて、お釈迦さまから直接に仏となる保証を与えられた弟子たちは、踊り上がって喜び、お礼を申し上げるとともに、<sup>きょうじんによ</sup>橋陳如が一同を代表して、いままでの段階の智慧を得ただけで満足していたまちがいを、次のような譬え話によって告白します。

「ある貧乏な人が、親友を頼ってやってきました。親友は酒や肴を出して手厚くもてなしてくれましたので、その人はすっかり酔っぱらい、いつのまにか眠ってしまいました。

ところが、その親友は、急に所用で出かけなければならなくなりました。寝ている友だちを起こすのも気の毒だと思い、その人のために、計り知れないほどの値打ちのある宝石を着物の裏に縫いつけておいて出かけたのです。

目が覚めたその人は、親友が所用で出かけてしまったことを知り、仕方なく立ち去りましたが、相変わらずの貧乏暮らしで、ついに放浪の生活に入りました。そして、衣食のためにたいへんな苦勞をし、ほんの少しでも収入があれば、それで満足するという状態でした。

ずいぶんたってから、その人は、昔の親友と道でばったり出会いました。親友は相も変わらぬそのあわれな姿を見て、『なんという愚かなことだ。わたしは君が安楽に暮らせるようにと思って、着物の裏に高価な宝石を縫いつけておいたのに』といいます。

そして、あっけにとられている友だちの垢じみた衣の裏からその宝石を取り出してやり、『さあ、これを売って、なんでも必要なものを買いなさい。不足ない生活ができるよ』というのでした」



この譬え話をした橋陳如は、「仏さまも、この親友のようなお方でございます。仏さまがまだ菩薩であられた頃、わたくしたちに『だれにも一様に<sup>ぶつ</sup>仏性(計り知れぬ値打ちのある宝石)が具わっているのだから、修行して仏の悟りを開くように……』と教えてくださったのですが、わたくしたちの心は眠りこけていて、その真意をつかむことができませんでした。そして、ただ煩悩を除くことができただけで、それを悟りだと思い込んでおりました。しかし、心の底にはほんとうの仏の悟りを求める心が残っていたのでございましょう。なんとなく、物足りない感じはいたしておりました。いま、世尊は、わたくしどもの目をはっきり覚まさせてくださいました。いまこそわたくしどもは、菩薩です。これから菩薩としての修行を積み、世の人のために尽くしていけば、ついには仏になれるのだということが分かりました。こんなありがたいことはございません」と、心からお礼を申し上げて、この品は終わりとなります。

## 人間は自分の本質を知らない

仏性には〈仏になりうる可能性〉という意味と、〈仏そのもの〉という意味とがあります。前者は、どのような人であっても努力次第で、いつかは必ず仏とすることができるということで、仏性ということを経験するという面からとらえた意味です。後者は、すべての人の本質は仏の本質そのものであるということで、仏性ということを経験することをその本質からとらえた意味です。

われわれは、みんな、こうした意味の仏性をもっているのですが、なかなかそれを自覚できません。なぜかといえば、「衣食に追われてあくせく働き、欲望を追って右往左往しているこの身、この心が自分なのだ」と、すっかり思い込んでいるからです。この話の中の貧乏な人が、そういったわれわれ凡夫のすがたなのです。

金持ちの友人すなわち久遠の本仏は、どんな凡夫にも仏性という尊い宝石をちゃんと与えてくださっているのに、われわれ凡夫は、欲望の満足のみを追い求めていますので、なかなかそれに気がつきません。それゆえ、いっこうに救われず、あくせくと苦の人生を送っているのです。

## お釈迦さまの教えで、初めて気づく

ところが、この世にあらわれた仏であられるお釈迦さまが、「すべての人間には平等な仏性(着物の裏にある無価の宝珠)があるのだよ」と教えてくださって、初めてわれわれはそれに気がつきました。それに気がついた瞬間、心が広びろとなり、明るくなり、自由自在になり、これから先の人生に大きな自信がついてきたのです。

## すでに救われているのだ

つまり、この譬えには、「われわれは、ほんとうはすでに救われているのだ。われわれの本質は、久遠の本仏と一体の、自由自在な仏性なのだ。その事実を知らないために、苦の人生をさまよっているのだ。だから、救われるのは、何も難しいことではない。自分の本質が仏性であること、つまり、初めから救われているのだということを経験しさえすればそれでいいのだ」という教えが述べられているわけです。



(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』

佼成出版社, 2016年 [初版 1991年], p. 86-93)

### 繰り返し学び、実践する

今月の会長先生のご法話は「習学」についてのご指導です。

これまでも、繰り返し、繰り返し仏さまの教えを学ぶことの大切さを教えていただいて来ました。すべての現象が仏さまの万億の方便を駆使して説かれた法であるから、自然の摂理やさまざまなかごとの中に真理を感じとり、仏の声を聴くことの大切さを確認いただきました。

日常生活の中で、如何に繰り返し学びつつ、実践できるかが大事だともお示しいただきました。そのためにも、基本信行である「ご供養」「導き・手どり・法座」「ご法の習学」を心がけ、特に、自他共の救われに向け、菩薩行—布教伝道・お導き—に邁進させていただきたいと思います。

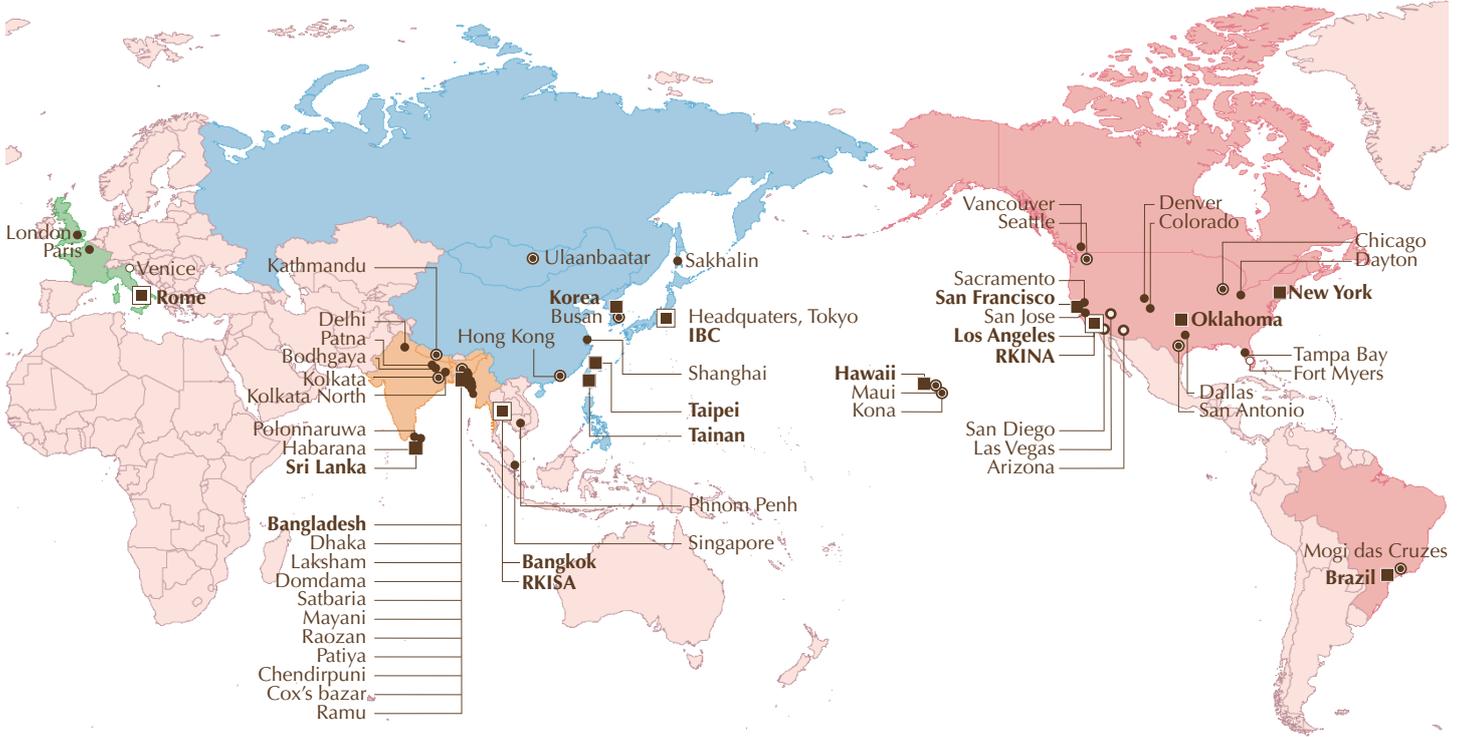
国際伝道部長

齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。  
E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan  
 Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224  
 e-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

## Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street, Suite #1, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
 Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437  
 e-mail: info@rkina.org <http://www.rkina.org>

### Branch under RKINA

#### Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003 U.S.A.  
 Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261  
 e-mail: rkseattlewashington@gmail.com  
<http://buddhistlearningcenter.org/>

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.  
 P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, U.S.A.  
 Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745  
 e-mail: dharmasanantonio@gmail.com  
<http://www.rkina.org/sanantonio.html>

#### Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.  
 Tel: (727) 560-2927 e-mail: rktampabay@yahoo.com  
<http://www.buddhismtampabay.org/>

#### Rissho Kosei-kai of Vancouver

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.  
 Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633  
 e-mail: info@rkhawaii.org <http://www.rkhawaii.org>

#### Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.  
 Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

#### Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740 U.S.A.  
 Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
 Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567  
 e-mail: rk-la@sbcglobal.net <http://www.rkina.org/losangeles.html>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.  
 Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437  
 e-mail: info@rksf.org <http://www.rksf.org>

## Rissho Kosei-kai of Sacramento

## Rissho Kosei-kai of San Jose

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.  
 Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499  
 e-mail: rkny39@gmail.com <http://rk-ny.org/>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.  
 Tel: 1-773-842-5654 e-mail: murakami4838@aol.com  
<http://rkchi.org/>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

<http://www.rkftmyersbuddhism.org/>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.  
 Tel: 1-405-943-5030 Fax: 1-405-943-5303  
 e-mail: rkokdc@gmail.com <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.  
 Tel: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.  
<http://www.rkina-dayton.com/>

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,  
 CEP 04116-060 Brasil  
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377 Fax: 55-11-5549-4304  
 e-mail: rissho@terra.com.br <http://www.rkk.org.br>

## Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,  
 CEP 08730-000 Brasil  
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

**Rissho Kosei-kai of Taipei**

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongjheng District,  
Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433  
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

**Rissho Kosei-kai of Tainan**

No. 45, Chongming 23rd Street, East District,  
Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

**Korean Rissho Kosei-kai**

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420,  
Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696  
*e-mail:* krkk1125@hotmail.com

**Korean Rissho Kosei-kai of Busan**

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

**International Buddhist Congregation (IBC)**

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan

Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224

*e-mail:* ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibrk.or.jp/>

**Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,  
North Point, Hong Kong, Republic of China

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

Tel: 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Sakhalin**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk  
693005, Russian Federation

Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai****Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

*e-mail:* thairissho@csloxinfo.com

**Branches under the South Asia Division****Rissho Kosei-kai of Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road  
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur, Kathmandu,  
Nepal

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,  
Phnom Penh, Cambodia

**Rissho Kosei-kai of Patna****Rissho Kosei-kai of Singapore****Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

*e-mail:* info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei-kai of Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh

Tel & Fax: 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai of Dhaka**

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,  
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh

Tel & Fax: 880-2-8413855

**Rissho Kosei-kai of Mayani**

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station:  
Mirshari, District: Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Patiya**

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Domdama**

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar**

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Satbaria**

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Laksham**

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Raozan**

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Chendirpuni**

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Ramu****Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka

Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa****Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia

Tel & Fax: 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

**Rissho Kosei-kai of the UK****Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of Paris**